

東京都春季水泳競技大会 追加要項

期日		入場時間	予選競技		決勝競技	
			競技開始	終了予定	競技開始	終了予定
4月16日(土)	1日目	7:15	9:00	13:05	13:30	16:51
4月17日(日)	2日目	7:15	9:00	12:54	13:30	17:22

○入場時間は両日、コーチ入場は7時15分とし、

- ①入場順位は、協力競技役員を派遣し、参加選手数の多いチームから、各団体代表者1名を順番に入館させる。
- ②参加選手数の多いチームから、各団体代表者1名を順番に入館させる
- ③代表者1名以外の監督・顧問・コーチ・マネージャー
- ④出場選手

上記の順で入館させる。

※天候等の状況により開場時刻および入場方法を変更する場合がある。

○入場の手順は以下のとおりとする。

- ①ADカードチェック
- ②健康管理表兼参加同意書提出（出場初日のみ）
 - ・入場時手元に用意し、記入漏れがないか事前に確認すること。
- ③検温
 - ・検温カメラで自動計測する。係りの指示に従いカメラの前を通過すること。
 - ・37.5℃以上を検知した場合は、救護担当の指示に従うこと。
- ④入場許可スタンプ
 - ・ADカードに許可スタンプを押印する。入場時の際、ADカードはケースから取り出しておくこと。

1. 競技について

- (1) 競技は、(公財)日本水泳連盟競泳競技規則に則り、種目別、男女別に行う。
- (2) 50・100・200m種目は、予選・B決勝・決勝を行う。400・800・1500mのみタイムレース決勝とする。
- (3) 予選は、区分に関係なく行うため、各区分10名に満たない場合でも行う。
- (4) 決勝は、予選の結果上位10名が出場できる。予選で同記録により定員を超えた場合は、抽選にてB決勝、決勝進出者を決定する。棄権者が出た場合は、次点上位より順次出場権を与える。尚、B決勝(中学生・高校生区分)は、決勝進出者を除く予選上位10名を対象とする。棄権者または決勝への繰り上げ出場者が出たときは、次点上位より順次出場権を与える。
- (5) 競技は、オーバー・ザ・トップ方式で行う。次組のスタート完了まで水中待機し、スタート終了後、速やかに自レーンより退水すること。背泳ぎおよび各種目最終組は、完泳後速やかに自レーンより退水すること。ただし、競技の進行状況によって退水方法を変更する場合がある。

- (6) バックプレート、バックストロークレッジ付きのスタート台を使用。調整は各自行い、確実に固定されていることを確かめること。背泳ぎにおいてバックストロークレッジを使用しない場合は、自レーンの競技役員に申し出ること。
- (7) 800m・1500m自由形における周回板通知は、折り返し側に周回板を掲示し、コールは行わない。
- (8) ゴールタッチはタッチプレートの有効面に確実にタッチすること。
- (9) 水着および身体へのテーピングは禁止する。ただし、治療目的の場合は審判長の許可を得ること。

2. 招集について

- (1) 招集は、ウッドデッキ側にて行う。本人確認のため、招集所にはADカードを持参すること。
アリーナ内や招集所へ入る際にADカードを首から下げて入場すること。
※ADカードが無い選手のアリーナ内、招集所への入場は出来ない。
- (2) 招集所では、マスクを着用し十分な対人距離を保つこと。

3. 棄権の届出

予選を棄権する場合は、所定の用紙に記入し、コンピューター室に届け出ること。決勝(B決勝含む)を棄権することはできない。やむなく棄権する場合は、棄権料 5,000 円を添えて届け出ること。無断で棄権した場合、棄権料とは別に罰金 5,000 円を徴収する。

4. 表彰について

- (1) 本大会において、種目別順位表彰は行わない。
- (2) 世界新記録、日本新記録、東京都新記録(いずれもタイ記録含む)を樹立した場合は、新記録証の授与式を行う。

5. ADカードについて

- (1) ADカードは各団体にてホームページよりダウンロードし、団体の承認印を押印の上、出場選手およびチームスタッフに配布すること。(A4サイズでプリントし4分割する。モノクロでも可)
- (2) 選手ADは大会期間中選手1名につき1枚とし、必ず記名すること。
- (3) チームスタッフADは**1団体1枚の基本ADに加え**、出場選手5名につき1枚追加できる。
ただし基本ADと合わせて合計5枚を上限とする。
※参加選手12名=チームスタッフADは4枚となる
- (4) チームスタッフADは団体スタッフに限り使用できる。選手の家族や友人などの使用は禁止とする。
- (5) ADカードは記名されている選手またはチームスタッフ専用とし他者への流用は認めない。
- (6) 会場内では常時ADカードを携行すること。(首から下げること)
- (7) ADカードを収納するケースは各自用意すること。
- (8) 大会期間中の体温と体調を必ず記入すること。
- (9) 出場最終日の退場時にADカードを退場受付に退出すること。大会終了後にADカードの提出を確認できない選手の記録は抹消する。
- (10) ADカードは参加団体の責任において規定に則り発行すること。不正発行および不正使用を確認した場合は、当該団体を退場処分とする。

6. 健康管理表兼参加同意書について

- (1) 健康管理表兼参加同意書（様式 A-04）は、各団体にホームページよりダウンロードして出場選手およびチームスタッフに配布すること。（必ず指定の様式をダウンロードし、A4 サイズでプリントすること）
- (2) 本追加要項「13. 大会参加にあたっての同意事項について」に記載の各事項に同意した者に限り会場への入場を許可する。同意事項をよく確認の上、同意欄に署名すること。未成年者は保護者の署名を必須とする。
- (3) 大会 10 日前からの体温と体調を正確に記載すること。
- (4) 健康管理表兼参加同意書は、選手・チームスタッフ問わず全ての入場者において提出を必須とする。大会参加の初日に入場受付に提出すること。（大会期間中 1 枚とする）

7. 登録団体用健康確認票（兼誓約書）について

- (1) 登録団体用健康確認票兼誓約書（様式 T-02）は、各団体にホームページよりダウンロードし持参すること。
- (2) 団体責任者は所属選手全員の健康状態を確認し『登録団体用健康確認票兼誓約書』を 9 時までに入場受付に提出すること。
- (3) 登録団体用健康確認票兼誓約書の提出が確認できない団体の出場は認めない。

8. 控え場所について

- (1) 観覧席のみとする。指定区域外への立ち入りを禁止する。
- (2) 荷物やカード・紐などでの場所取り行為を禁止する。一定時間以上放置された荷物類は、忘れものとして撤去する。
- (3) 観覧席 1 階最前列は危険防止のため使用不可とする。
- (4) 観覧席は対人距離を確保して利用すること。
- (5) メインプールの更衣室は更衣のみとし、ロッカーの使用はできない。なお、荷物を放置しないこと。
- (6) サブプール側更衣室は使用できない。

9. プール使用について

(1) メインプール

- ① 水深 2 m、水温 28.0 度とする。
- ② ウォーミングアップは、競技開始 20 分前までとする。
- ③ ウォーミングアップ時ダッシュレーンは、1 レーンスタート側から、10 レーンは折返し側からとする。
※状況によって、ダッシュレーン数の調整を行う。
- ④ バドル・コード類の使用は禁止する。
- ⑤ 競技中を除き、ホイッスルの使用を認める。ただし、電子ホイッスルに限る。

(2) サブプール

※大会期間中は、アッププールとして使用に限る。

- ① 水深 1.2m～1.4m、水温 28.5 度とする。

② 【7時20分～11時】【14時30分～】

1レーンをダッシュレーン 2～4レーンを女子専用 5～7レーンを男子専用

【11時～14時30分】

1～3レーンを女子専用 5～7レーンを男子専用 4レーンをペースレーン

③ パドル・コード類の使用は禁止する。

④ 競技中を除き、ホイッスルの使用を認める。ただし、電子ホイッスルに限る。

(3) ダイビングプール

※レース直後のダウンプールとして使用に限る。

① 水深5m、水温28.0度に設定する。

② メインプール側が男子専用、高飛び込み台側を女子専用とする。

③ 飛込競技用設備には触れないこと。また突起物には十分注意すること。

10. ストレッチスペースについて

メインプールウッドデッキをストレッチスペースとする。利用の際は以下の注意事項を厳守すること。

① 他者との対人距離を十分に確保し、常時マスクを着用すること。対人距離を確保できないと判断した場合は利用者数を制限する。

② 複数人でのストレッチ、補強等は認めない。

③ スペースの専有(場所取り)はできない。利用は1回30分以内を目安とし長時間滞在しないこと。

④ ストレッチスペースでの食事は禁止する。飲料の摂取は認めるが、ゴミは持ち帰ること。

⑤ 利用の際はできるだけストレッチマット等の敷物を使用すること。

⑥ ストレッチスペースでの更衣は禁止する。

11. 感染症拡大予防について

(1) 感染症予防ガイドラインに従い大会運営する。

(2) ガイドラインに従わない場合、また係の指示に従わない場合は退場処分とする。

(3) 大会会場内のみならず、往復の移動や日常生活においても感染予防に努めること。

12. 競技結果(速報)について

(1) 会場内で競技結果の張り出しは行わない。

(2) 競技結果はプログラム番号ごとに速やかにインターネットに公開する。

13. 大会参加にあたっての同意事項について

(1) 水泳競技会における感染拡大予防ガイドラインおよび大会主催者の指導や指示を順守し、新型コロナウイルス感染症などの感染防止に努めること。

(2) 新型コロナウイルス感染の疑いや発熱などの症状が認められる場合には参加を辞退すること。また主催者から大会への参加辞退要請があった場合はそれに従うこと。

(3) 大会後14日以内に新型コロナウイルスに感染またはその疑いが生じた場合は、速やかに主催者に報告すること。

(4) 大会期間中に発生した事故・傷病・感染症は、自己または保護者の責任において対処すること。

(5) 感染拡散防止の目的で保健所ならびに関係機関に健康管理表に記載の個人情報が提供される場合が

ある。

- (6) 悪天候・自然災害または感染症流行等により大会が中止になった場合および自己または主催者の判断で出場取消しとなった場合でも申込金は返金しない。
- (7) 公益財団法人日本水泳連盟および公益財団法人東京都水泳協会が定める規則等を遵守すること。

14. その他

- (1) 熱中症に注意すること。
 - ① こまめな水分補給を心掛けること。
 - ② ペットボトル、水筒などは専用のもを使用し、他者と共有しないこと。
- (2) 選手の保護者を含め、応援・観覧のための入場はできない。
- (3) プールサイドは室内履きに限り使用を認める。
- (4) レースやウォーミングアップ時に脱衣した衣服は袋やナップザック等に入れて管理すること。
- (5) 忘れ物は、退場専用口（第1ゲート付近）にて保管する。最終日競技終了後、破棄する場合がある。
- (6) 貴重品は各団体の責任において管理すること。
- (7) 事故、怪我等の無いよう各団体において十分注意すること。
- (8) 会場内の設備、備品等を破損した場合は、所属団体の責任において弁償すること。
- (9) 会場内外での所属ミーティングは禁止する。
- (10) 駅、公園等での待ち合わせは、一般利用者の迷惑になることがあり、密にもなるので避けること。
- (11) 辰巳水泳場前や近隣への路上駐車は禁止する。また、送迎や駐車場空き待ちでの路上停車も禁止する。

15. 大会実行委員会

公益財団法人東京都水泳協会 競技委員会

E-mail : kyougi@tokyo-swim.org